

デジタルネットワークと社会変革

高野 義朗

NTT 画像通信事業本部映像通信サービス部長（当時）

〈講演概要〉

講演は、世界の電気通信市場の自由化、通信法の改正等に触れ、アメリカ、イギリス、ニュージーランド等の諸外国を例に挙げながら、規制撤廃が電気通信産業に及ぼす影響を説明し、特に、ニュージーランドにおける規制撤廃は効を奏し、同国の電気通信産業を飛躍的に躍進させたとの現状報告があった。

次いで、同社が進めるオープン・コンピュータ・ネットワーク、オン・デマンド、TV会議の伝送システムについて、その背景、コンセプト、システムの特徴・構成、サービスの種類、各分野への応用・適用例などの説明があった。とりわけ、遠隔教育への応用として、大学において、学生は、遠隔で授業を受けることができることはもとより、レポートの提出、教官との質疑応答、カリキュラム編成・履修状況の検索、さらには、就職情報、学内案内、図書館の文献検索等ができることや、また、社会人に対しては、生涯学習ニーズに応え、そのデータを活用して公開講座というかたちで情報を提供できると説明し、その応用は広範囲に及ぶものであることが詳細に述べられた。

今日、高等教育を取り巻く状況の変化は大きく、今までに経験したことのないほどの広がりを見せており、高等教育機関における取組も積極的かつ現実的なものとなってきている。一方、マルチメディア技術の著しい進歩や、インターネットワークの世界的普及、イントラネットの登場等は、社会のあらゆる分野、領域に大きくその影響を及ぼし始めている。このことは、高等教育の分野においても、マルチメディアが、教育内容・方法の充実等のために大きく活用できる可能性が高まってきたことを示すものである。

現在、放送教育開発センターでは、平成7年度にSCS（スペース・コラボレーション・システム）による大学間等の遠隔教育の実施に踏み切り、平成7年度以降各国立大学等にSCS受信システムを整備し、大学間ネットワークを構築する方向も打ち出されている。

本学でも、すでにマイクロ波による遠隔教育システム（SUNS）を構築し、試行的、実験的な遠隔授業を行うとともに、遠隔教育に関する様々な調査、研究を実施しこの分野では、先駆的な実績を有している。

平成7年4月に設置された本センターでは、「遠隔講義システム研究開発分野」を中心に、これまでの成果に基づいて、最新のシステム導入などにより、より効果のある教育方法、教材等の研究・開発に鋭意取り組んでいるが、今回の講演で得られた新知見は、今後の高等教育における遠隔教育の実践に寄与するところ大である。